

## 第2回 福岡医療短期大学 特色GP口腔ケア実践教室

# 機能に関わる口腔ケア

日時:平成19年 8月19日(日) 10:00~15:30

場所:福岡医療短期大学 307教室 1階コミュニティホール

10:00~12:00

### I. 開会の挨拶

### II. 基調講演 1

嚥下障害がある方へのアプローチ -VF 検査-

恵光会原病院 歯科口腔外科部長 原 巖

### III. 基調講演 2

介護施設における口腔ケアの重要性

介護老人保健施設 サンシャインシティ施設長 松葉 健一

12:15~15:30

### IV. 実技講習 1

食べる機能を理解する “食べてみよう、飲んでみよう パート2”

福岡医療短期大学 准教授 堀部 晴美

高橋美如、的野操、泉繭依、黒木まどか、木村友美、他

### V. 実技講習 2

互いに学ぶ口腔ケア

「口腔ケア実践教室」は、文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」  
(特色GP) による補助事業の一つです。



〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1  
福岡医療短期大学 特色GP研修会事務局



## 第2回 特色 GP 口腔ケア実践教室

### 講演1. “介護施設における口腔ケアの重要性”

福岡歯科学園 介護老人保健施設サンシャインシティ 施設長 松葉 健一

介護施設には、もともとの病気が治まったものの体力には自信が無く、自宅での生活に不安を覚える方々が入所されています。その多くは身体が不自由で、中には認知症の方もいらっしゃいます。ほとんどの方は、施設に入る迄は主に病気の治療に精一杯で、なかなか口腔ケアまでは手が回らなかったという事情をお持ちのようです。そのため、何とか食事が出来ていたら、ご本人の訴えない限り口腔ケアはおろか、歯科治療さえも受けられていないようです。私どもの施設は開設されて5年になりますが、開設当初から歯科衛生士を採用し、口腔ケアに取り組んできました。一人一人の入所者に適切な口腔ケアプランを作成して実施し、口腔内の清掃状態の改善に努めてきました。ここでは改善の経過、改善による食事形態の変化、さらには改善によってもたらされるQOLの向上について述べさせて頂く予定です。その上で、口腔ケアと密接な関係がとり沙汰されている誤嚥性肺炎の発生についても、私どもの施設の成績を紹介したいと考えています。

### 講演2. “嚥下障害がある方へのアプローチ -VF 検査-”

恵光会原病院 歯科口腔外科部長 原 巖

療養型病院や老健施設などの高齢者医療の現場では、身体清拭、点滴管理、リハビリテーション、褥創管理、など多くの仕事に追われる。その中で食事介助をはじめとする栄養管理は、一人の患者に非常に時間が掛かり、誤嚥などの危険性を含んでいる。一方、近年口腔ケアの重要性が叫ばれているが、現場では、患者が口を開けない、ケアをすると嘔むなどにより、十分なケアが困難なことが多く、口腔に関わる介護は、非常に時間がとられることから後回しになることもしばしばある。

しかしながら、口腔ケア、食事介助の仕方で、摂食・嚥下障害が防げ、また、引いては誤嚥性肺炎の予防に繋がる。そこで、今回、私は摂食・嚥下障害の病態について述べ、明日から臨床の場でどのような点に注意したら良いかをお話したい。